

令和4年度学校目標

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒個々の学力を伸ばさせて専門学習の土台となる基礎学力の定着を図り、主体的に学び課題を解決する力を養う。</p> <p>②生徒が諸活動に主体的に取り組む態度を養う。</p>	<p>①専門学科の特を生かした教育課程の検討と多様な教育機会を用いて学びの充実を図る。 また、ICTの利活用を進め生徒の主体的な学びを促すとともに、基礎学力の定着を図る。</p> <p>②コロナ禍での学校行事において、生徒が主体に企画・運営できる職員の支援体制を整える。</p>	<p>①外部機関との連携を図り、専門学科ならではの教育環境の充実を図る。 一人一台パソコン導入に伴い、ICTを利活用した効果的な授業づくりなどの研修会や学びなおしの機会についての研究会を適宜開く。</p> <p>②生徒会本部役員と各委員会が連携し、生徒が主体的に計画を立て行事に取り組めるよう支援する。</p>	<p>①外部機関との連携を図り多様な教育機会を用いることができたか。 ICT利活用の研修会や学びなおしの授業研究会を実施できたか。その結果生徒の授業評価の4の項目が8割以上を達成できたか。</p> <p>②行事アンケートでは8割以上の生徒から肯定的な回答が得られたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>生徒一人ひとりの個性を尊重して自己肯定感を高め、ニーズに応じた支援・指導を行う。</p>	<p>①生徒指導内規や校則について、生徒の実態やニーズと合致しているかを検証する。</p> <p>②支援が必要な生徒について、外部教育機関との連携を図り組織的な相談体制を構築する。</p>	<p>①18歳成人を念頭に置き、生徒の実態に合ったルールや校則について検証する。</p> <p>②支援が必要な生徒について各年次で共有し、必要に応じてSCやSSWなどの外部機関を活用したり、ケース会議を開催するなど個々に応じた支援を組織的に行う。</p>	<p>①生徒の実態に即した指導・支援ができたか。</p> <p>②支援が必要な生徒について情報共有し組織的に支援できたか。</p>

3	進路指導・支援	生徒の社会的職業的自立を目指して職業観、勤労観を養うよう早期からの進路指導の充実を図る。	<p>①生徒一人ひとりが自己を見つめ、将来を見据えた進路選択ができるよう支援する。</p> <p>②卒業後の社会参加について意識の向上を図る。</p>	<p>①進路ガイダンスの充実を図るとともに、専門教科の授業を通して職業観、勤労観の育成を図る。</p> <p>②インターンシップや外部講師を活用する。</p>	<p>①「魅力と特色ある県立高校づくりについてのアンケート」の項目B-9とB-11の数値が8割以上を達成できたか。</p> <p>②インターンシップの参加率が向上したか。会社人事担当など外部講師による講演会を複数回実施できたか。</p>
4	地域等との協働	地域との連携を充実させ、地域に貢献する産業人材の育成を通して信頼される学校づくりを進める。	<p>①地域に開かれ地域とともにある学校づくりを目指し、タイムリーに情報発信を行う。</p> <p>②開成町やJAなどとの連携継続・発展を図る。</p>	<p>①学校HPやTwitterを迅速に発信する。学校紹介用のチラシの充実を図り、地域に向け情報を発信する。</p> <p>②コロナ禍においても可能な幼・小・中・高校の連携事業の工夫を図るとともに、地域の意見を取り入れながらJA・企業との連携を密にする。</p>	<p>①学校HPやTwitterでの情報発信は迅速に対応できたか。学校紹介用のチラシは効果的に活用できたか。</p> <p>②連携事業、地域との連携が実施できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	安全、安心な学校生活のための教育環境を整備し、すべての職員が学校教育目標を共有して農業や生活産業分野の教育活動の継承・発展を進める。	<p>①開成町防災担当者との連携を図る。</p> <p>②校内の危険個所の状況を把握し安心・安全な教育環境を整える。</p>	<p>①避難場所や防災物品を確認し、水害対策について検討する。</p> <p>②教室等の安全点検を実施し、整備計画を立てる。</p>	<p>①防災担当者との打ち合わせを実施できたか。</p> <p>②予算を含めた次年度計画を立て、簡易な整備は実施できたか。</p>